

インストラクター：講習会の開催・インストラクター経験

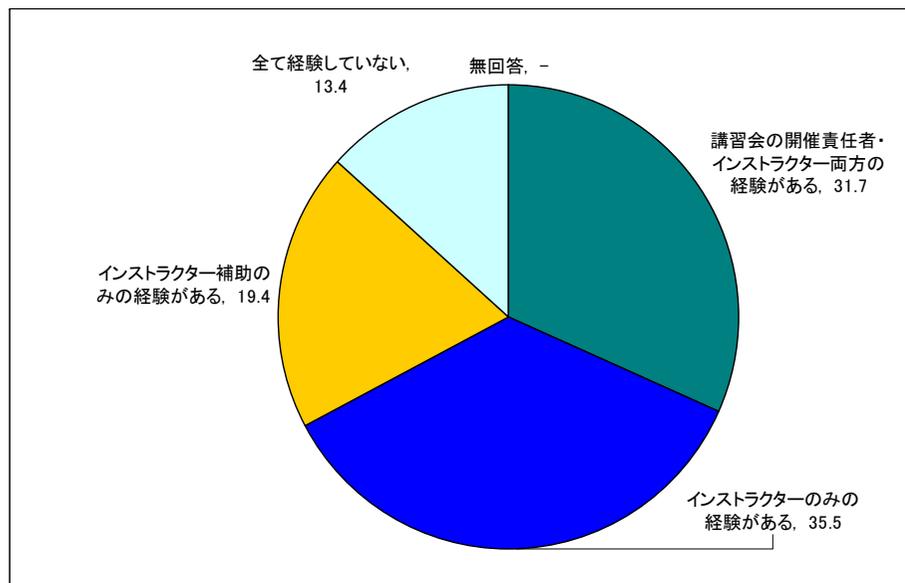
インストラクター：あなたは、NCPR講習会の開催責任者、あるいはインストラクターの経験はありますか？

◆67.2%がインストラクターの経験があると回答。

職種別では、助産師・看護師が「インストラクター補助のみの経験」の回答が高く、今後、助産師・看護師のインストラクターが講習会を開きやすい環境作りもNCPR普及のためには必要である。

◆次のページの「全く経験していない」理由の自由回答だが、時間的余裕のなさ以外でも、「機会がない」「要請がない」「自分一人では自信がない」などの回答がみられた。

トレーニングサイトを中心とした地域のインストラクター間の連携や、インストラクションに自信のない人のためへのフォローアップ講習などを実施し、一部のやる気のあるインストラクターに負う部分が多い現状を改革していくことが必要であろう。



	合計	講習会の開催責任者・インストラクター両方の経験がある	インストラクターのみの経験がある	インストラクター補助のみの経験がある	全て経験していない	無回答
インストラクター	679	31.7	35.5	19.4	13.4	-
インストラクター資格取得年						
2007年・2008年	298	48.0	36.9	7.7	7.4	-
2009年	155	19.4	42.6	23.9	14.2	-
2010年	149	23.5	30.9	27.5	18.1	-
2011年	77	9.1	24.7	40.3	26.0	-
満足度						
満足計	383	43.6	42.3	14.1	-	-
不満足計	205	23.4	38.5	38.0	-	-
インストラクター経験回数						
20回以上	25	88.0	8.0	4.0	-	-
5～20回未満	215	67.0	19.5	9.8	3.7	-
2～5回未満	226	36.7	25.7	25.7	11.9	-
1回	122	22.1	25.4	34.4	18.0	-
職業						
小児科医師	274	44.5	39.8	8.4	7.3	-
産婦人科医	237	29.1	37.1	8.9	24.9	-
その他の医師	4	-	50.0	50.0	-	-
助産師	93	17.2	19.4	53.8	9.7	-
看護師	64	12.5	32.8	50.0	4.7	-
その他	5	-	20.0	80.0	-	-

インストラクター：講習会の開催責任者・インストラクターを経験しない理由

インストラクター：あなたは、NCPR講習会の開催責任者、あるいはインストラクターの経験はありますか？の設問に「全て経験していない」と回答した人のみ その理由は何ですか？（自由回答）

アップデート講習を受けていなかったため	小児科医師
忙しかったため	産婦人科医
依頼がない	産婦人科医
インストラクター資格者(産科医)が県内に一人のみに講習会の開催が不可。開催方法が分からない。	産婦人科医
インストラクター取得後すぐ2010年のアップデートとなったため、知識に自信がない。	助産師
インストラクターになってから期間が短くチャンスがなかった	産婦人科医
インストラクター認定を取ったばかりのため	看護師
インストラクターの依頼が来ていない。今月中に講習会開催予定である	助産師
インストラクター補助の機会が得られないため次のステップへ進めない。自信がない。	産婦人科医
インストラクターを修得してまだ日が浅い	助産師
インストラクターを取得して日が浅いため	小児科医師
インストラクターをする予定で今準備中	小児科医師
院内で開催したいがもう一人がいらない	産婦人科医
院内で開催していないため	産婦人科医
院内には自分一人しかおらず、開催のための準備まで他の仕事とのかねあいで手が回っていない	小児科医師
院内の開催増加につながればと思ったため	産婦人科医
開催機会がない	産婦人科医
機会がない	産婦人科医
機会がない	小児科医師
機会がない	産婦人科医
機会がないし作れないため	産婦人科医
機会がないということが最大の理由。勤めている病院にはNICUがなく普段からこのような知識技術に触れる機会がない。インストラクター補助ができれば勉強の機会が増えると思ったがほとんどできていない。講習会に一度出席したくらいで緊急時に対応できるとは思えないので、勉強の機会を与えてほしい。たとえばテストまでいいが、講習に複数回参加できるとか。ごく普通の施設にいるものがインストラクターとして活動するにはもっと経験しないととも他人に教えられるレベルにはならないと思います。	助産師
機会がなかった	小児科医師
機会がなかった	小児科医師
機会がなかった	産婦人科医
機会がなかった	産婦人科医
機会がなかった	産婦人科医
機会がなかった	看護師
機会がなかった	小児科医師
機会がなかった	産婦人科医
機会がなかった	産婦人科医
機会がなかった(来年予定あり)	産婦人科医
機会がなく一人やるには自信がないので。	助産師
機会にめぐりあえていないため？インストラクター等、認定をとっても特に登録のようなものもなく孤立していたように思う。病院勤務でもなかったから。	助産師
強制されないのでズルズルとしなまま過ぎてしまった	産婦人科医
勤務が調整できないため	看護師
勤務の都合上(来年にインストラクターを担当する予定です)	産婦人科医
経験できる機会がない(勤務先は開業医なので)、インストラクターを経験する機会がないので更新できない。	助産師
講習会開催を主催する規模の施設でないため。他施設での講習会を手伝うことができるが機会がなかった。	産婦人科医
講習会スケジュールが合わない	産婦人科医
講習会の機会がない	産婦人科医
講習会を12月にする予定	小児科医師
高齢のため(69歳です)	産婦人科医

個人開業医のため他のインストラクターと協同できない	産婦人科医
この1年勤務移動が頻繁で準備できなかった	産婦人科医
今後経験していきたいと思います	産婦人科医
今後はじめてインストラクターを行う予定(今まで機会がなかった)	産婦人科医
最近取得したため	小児科医師
山陰地区での連絡がうまくされていない。設備のある病院が少ない。	産婦人科医
参加可能な日程での講習会開催がなかった	小児科医師
時間がとれない	産婦人科医
時間がとれない	産婦人科医
時間的ゆとりがなかったため	産婦人科医
時間の余裕がなく開催できていない	小児科医師
自信がない	産婦人科医
自分一人で開催できません。同じ地域にインストラクター同士のネットワークがあれば可能かもしれません。	産婦人科医
積極性が不足していたため	産婦人科医
大学院の研究を優先させたため	産婦人科医
多忙	産婦人科医
多忙で講習会に参加する予定が立てられない	産婦人科医
多忙で自主的な講習会開催は行っていませんでした。協会等よりの講師依頼は受けたことはありません。	産婦人科医
多忙ならびに他院で行われているため	産婦人科医
近くで参加できるようなコースが開催されていなかったため	産婦人科医
チャンスがなかったが今後自分で企画しようと思っています	助産師
チャンスを失くしている	産婦人科医
通常業務が忙しいのと機会がなかった	小児科医師
当初周囲にインストラクターがおらず、正式なものを開催するに至らなかった。2年前に転勤となり分娩のない施設での仕事になったので遠ざかってしまっている	小児科医師
当地での開催自体少なく自らオーガナイズする場合は当地の研究會などとの関係あり、他地区へでも行ってやりたいところですが。	小児科医師
当直などで出席できなかった	小児科医師
なかなか機会がない、作れない為	産婦人科医
なかなか時間がとれない、一度の認定コースの経験では自信がない	産婦人科医
日時や道具の準備がうまくいかず正規ではない講習は開催している	産婦人科医
日常業務が多忙のため	産婦人科医
日程が合わないため	産婦人科医
日程が合わないため	産婦人科医
日々の産婦人科業務に追われ余裕がなかったため	産婦人科医
婦人科クリニックを開業したため	産婦人科医
分娩をやっているため時間がありません(個人医院一人です)	産婦人科医
他のインストラクターにお願いした(時間的余裕がなかった)	小児科医師
まだ講習会を開いていない	小児科医師
まだその機会がないため	産婦人科医
まだ認定を取得したばかり	小児科医師
要請がない。自信もないので企画はできない。	助産師
来月予定している	産婦人科医
来月予定している	産婦人科医
留学していたから	産婦人科医

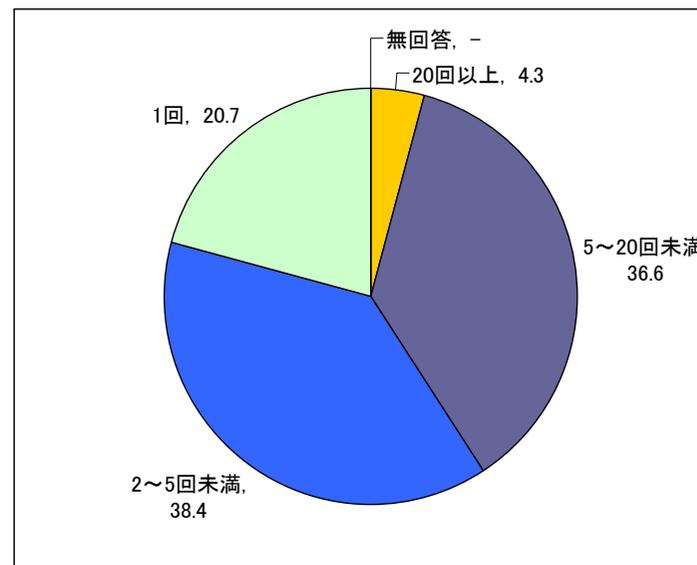
※これは自由回答の抜粋です。

インストラクター：インストラクター経験回数

インストラクター：あなたはインストラクター（補助含む）を何回したことがありますか？

◆平均すると「2～5回未満」と「5～20回未満」の層が多い結果となった。

職種別では、小児科医師の経験回数が他の職種に比べて多い結果となった。



	合計	20回以上	5～20回未満	2～5回未満	1回	無回答
インストラクター	588	4.3	36.6	38.4	20.7	-
責任者・インストラクター経験	456	55.5	21.1	17.8	5.7	-
補助のみ経験者	132	17.4	28.0	31.1	23.5	-
インストラクター資格取得年	276	8.0	52.2	30.1	9.8	-
2007年・2008年	133	1.5	31.6	43.6	23.3	-
2009年	122	0.8	17.2	47.5	34.4	-
2010年	57	-	14.0	47.4	38.6	-
2011年	383	5.0	42.6	38.4	14.1	-
満足度	205	2.9	25.4	38.5	33.2	-
満足計	25	100.0	-	-	-	-
20回以上	215	-	100.0	-	-	-
5～20回未満	226	-	-	100.0	-	-
2～5回未満	122	-	-	-	100.0	-
1回	274	6.7	52.0	29.1	12.2	-
職業	237	1.7	27.5	50.6	20.2	-
小児科医師	4	-	-	50.0	50.0	-
産婦人科医	93	2.4	22.6	39.3	35.7	-
その他の医師	64	4.9	21.3	42.6	31.1	-
助産師	5	-	20.0	-	80.0	-
看護師						
その他						

インストラクター：インストラクター経験回数 ＜都道府県別＞

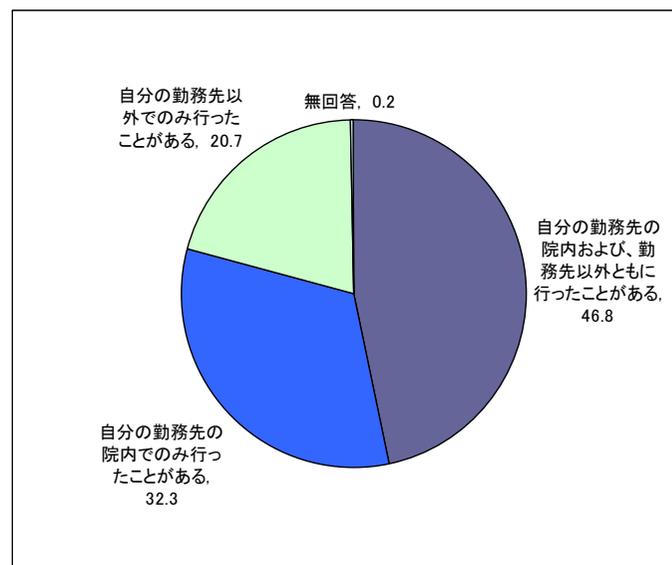
◆県別にてインストラクターの経験回数を集計した。回答数に大きな差があるため%では測れない部分もあるが、インストラクターの方への参考として掲載します。

	合計	20回以上	5～20回未 満	2～5回未 満	1回	無回答		合計	20回以上	5～20回未 満	2～5回未 満	1回	無回答
北海道	25	-	32	36	32	-	滋賀県	7	-	28.6	57.1	14.3	-
青森県	4	-	50	-	50	-	京都府	12	16.7	58.3	16.7	8.3	-
岩手県	10	-	20	40	40	-	大阪府	37	5.4	27	48.6	18.9	-
宮城県	4	25	50	-	25	-	兵庫県	21	-	23.8	33.3	42.9	-
秋田県	5	-	-	20	80	-	奈良県	11	-	18.2	63.6	18.2	-
山形県	8	-	12.5	87.5	-	-	和歌山県	4	-	100	-	-	-
福島県	7	-	28.6	57.1	14.3	-	鳥取県	1	-	100	-	-	-
茨城県	10	10	40	40	10	-	島根県	6	-	50	33.3	16.7	-
栃木県	18	-	22.2	55.6	22.2	-	岡山県	11	-	54.5	36.4	9.1	-
群馬県	14	-	71.4	14.3	14.3	-	広島県	12	-	25	41.7	33.3	-
埼玉県	16	-	50	43.8	6.3	-	山口県	4	25	25	50	-	-
千葉県	25	8	36	28	28	-	徳島県	7	-	-	71.4	28.6	-
東京都	59	1.7	47.5	37.3	13.6	-	香川県	5	-	40	40	20	-
神奈川県	52	3.8	32.7	44.2	19.2	-	愛媛県	4	-	-	100	-	-
新潟県	8	12.5	75	12.5	-	-	高知県	2	50	50	-	-	-
富山県	4	-	50	25	25	-	福岡県	14	14.3	42.9	28.6	14.3	-
石川県	2	50	50	-	-	-	佐賀県	5	-	-	20	80	-
福井県	7	14.3	28.6	42.9	14.3	-	長崎県	7	-	42.9	14.3	42.9	-
山梨県	12	-	25	33.3	41.7	-	熊本県	6	-	16.7	83.3	-	-
長野県	9	33.3	33.3	33.3	-	-	大分県	8	12.5	25	50	12.5	-
岐阜県	16	6.3	37.5	18.8	37.5	-	宮崎県	7	-	57.1	28.6	14.3	-
静岡県	19	5.3	52.6	31.6	10.5	-	鹿児島県	4	-	25	50	25	-
愛知県	26	-	34.6	42.3	23.1	-	沖縄県	8	12.5	37.5	25	25	-
三重県	7	-	42.9	28.6	28.6	-	無回答	18	-	33.3	50	16.7	-

インストラクター：インストラクター経験場所

インストラクター：あなたがNCPR講習会のインストラクター(補助含む)を行ったのはどこですか？

◆半数近くの46.8%が「自分の勤務先の院内および勤務先以外ともに行ったことがある」と回答。取得年や経験回数によってその回答率は高まる。



	合計	自分の勤務先の院内および、勤務先以外ともに行ったことがある	自分の勤務先の院内でのみ行ったことがある	自分の勤務先以外でのみ行ったことがある	無回答
インストラクター	588	46.8	32.3	20.7	0.2
責任者・インストラクター経験					
責任者・インストラクター経験者	456	56.1	29.4	14.3	0.2
補助のみ経験者	132	14.4	42.4	43.2	-
インストラクター資格取得年					
2007年・2008年	276	63.0	21.4	15.6	-
2009年	133	39.1	41.4	19.5	-
2010年	122	27.0	49.2	23.0	0.8
2011年	57	28.1	28.1	43.9	-
満足度					
満足計	383	52.7	30.8	16.2	0.3
不満足計	205	35.6	35.1	29.3	-
インストラクター経験回数					
20回以上	25	88.0	12.0	-	-
5～20回未満	215	74.4	17.7	7.9	-
2～5回未満	226	40.7	39.8	19.0	0.4
1回	122	0.8	48.4	50.8	-
職業					
小児科医師	274	61.0	26.4	12.6	-
産婦人科医	237	42.1	34.3	23.0	0.6
その他の医師	4	50.0	-	50.0	-
助産師	93	22.6	38.1	39.3	-
看護師	64	36.1	42.6	21.3	-
その他	5	-	80.0	20.0	-

インストラクター：インストラクター経験場所 ＜都道府県別＞

◆県別にてインストラクターの経験場所を集計した。回答数に大きな差があるため%では測れない部分もあるが、インストラクターの方への参考として掲載します。

	合計	自分の勤務先の院内および、勤務先以外ともに行ったことがある	自分の勤務先の院内でのみ行ったことがある	自分の勤務先以外でのみ行ったことがある	無回答		合計	自分の勤務先の院内および、勤務先以外ともに行ったことがある	自分の勤務先の院内でのみ行ったことがある	自分の勤務先以外でのみ行ったことがある	無回答
北海道	25	36	48	16	-	滋賀県	7	71.4	28.6	-	-
青森県	4	25	25	50	-	京都府	12	58.3	33.3	8.3	-
岩手県	10	40	40	20	-	大阪府	37	35.1	40.5	24.3	-
宮城県	4	50	50	-	-	兵庫県	21	19	42.9	38.1	-
秋田県	5	20	-	80	-	奈良県	11	63.6	9.1	27.3	-
山形県	8	50	12.5	37.5	-	和歌山県	4	100	-	-	-
福島県	7	71.4	-	14.3	14.3	鳥取県	1	-	100	-	-
茨城県	10	70	20	10	-	島根県	6	33.3	50	16.7	-
栃木県	18	50	44.4	5.6	-	岡山県	11	63.6	36.4	-	-
群馬県	14	64.3	21.4	14.3	-	広島県	12	41.7	16.7	41.7	-
埼玉県	16	56.3	18.8	25	-	山口県	4	50	50	-	-
千葉県	25	56	12	32	-	徳島県	7	-	14.3	85.7	-
東京都	59	50.8	40.7	8.5	-	香川県	5	60	40	-	-
神奈川県	52	42.3	34.6	23.1	-	愛媛県	4	25	75	-	-
新潟県	8	87.5	-	12.5	-	高知県	2	50	50	-	-
富山県	4	50	25	25	-	福岡県	14	64.3	28.6	7.1	-
石川県	2	50	50	-	-	佐賀県	5	-	20	80	-
福井県	7	28.6	71.4	-	-	長崎県	7	57.1	-	42.9	-
山梨県	12	16.7	50	33.3	-	熊本県	6	66.7	16.7	16.7	-
長野県	9	66.7	33.3	-	-	大分県	8	50	50	-	-
岐阜県	16	37.5	12.5	50	-	宮崎県	7	57.1	-	42.9	-
静岡県	19	68.4	26.3	5.3	-	鹿児島県	4	50	25	25	-
愛知県	26	30.8	57.7	11.5	-	沖縄県	8	12.5	50	37.5	-
三重県	7	57.1	-	42.9	-	無回答	18	50	33.3	16.7	-

インストラクター：講習会のインストラクターをしようと思った理由

インストラクター：あなたはなぜNCPR講習会の開催責任者、またはインストラクターをしようと思いましたか？（自由回答）

NCPRの活動に意義を感じたから	小児科医師
NCPRの普及が新生児仮死の予後の改善に役立つから	小児科医師
赤ちゃんにとっても働く人にとっても有益なことだと思います。自分としても教えることが学が場になると思います	小児科医師
インストラクターとして当然の責務	小児科医師
院内院外とも希望者が多く開催を望む声が多かったから	小児科医師
得た知識を地域医療に還元したい。チームとして新生児蘇生がスムーズに行われるようにレベルアップするため	小児科医師
お産に関係する職種の方々に新生児蘇生法をマスターし、新生児の予後が改善すればよいと考えるため	小児科医師
主にNICU・GCU・産科コメディカルの教育のため	小児科医師
開業産科で働く方との新生児蘇生に関する理解認識レベルのギャップを知るため	小児科医師
勤務先での蘇生方法がバラバラで複数で蘇生しようとしてもうまく協調できなかったから・近くの産院での蘇生が向上すれば予後も向上すると考えられる症例があったから	小児科医師
県内の周産期医療が他府県におくれず標準的なレベルを保つよう講習会が必要と感じたから。離島のため県外への受講は出来ない人が多い	小児科医師
自分自身の知識を定着させるため、又何か世の中に貢献したいと思ったため	小児科医師
周産期医療の底上げ	小児科医師
周産期センター近隣の産科施設での治療向上のため	小児科医師
受講者に充実した研修をしてもらい、職場で発揮してもらいたい	小児科医師
出産後の異常に対応できる医師になりたかった、周りの対応できない医師を見ているとやるせなかった	小児科医師
新生児蘇生の底辺を広げることが新生児の救命率を上げる最短の方法であるから	小児科医師
新生児蘇生の標準的技を地域に根付かせ一人でも多くの赤ちゃんの救命に役立てたい	小児科医師
新生児の予後改善のためです	小児科医師
スタッフのモチベーションアップのため	小児科医師
蘇生法の普及により新生児の予後が改善すると期待している。NICUのない分娩施設や救急医療に関わる消防署員からのリクエストがあった	小児科医師
地域で必要とされていたこと、かつコースを開催する人が他にいなかったこと。医療過疎地勤務だったため標準化は必需でした。	小児科医師
チーム医療の推進のためと、近隣産婦人科との協体制確立のため	小児科医師
当院は周産期の一次施設でスタッフが経験のないものたちがほとんどであったため、一次施設こそNCPRの技術と知識を持つべきだと思った	小児科医師
当初は院内での質を上げたいと思っていましたが、そのうち少しでも全国普及への微力になればと思っており	小児科医師
日頃小児科医や研修医の先生に教える機会があっても、地域の周産期医療に従事している方々に指導する機会はこの講習会のみであるため	小児科医師
人に教えるのが好き・赤ちゃんを助ける手段を伝えられれば。	小児科医師
広めてこそ意味があるものだったのでは	小児科医師
分娩件数が多く仮死で生まれる新生児が多く、助産師で初期対応できるようにするため	小児科医師
NCPRの意識知識を院内の共通認識としたかったから	産科医師
依頼されたから	産科医師
インストラクターになった以上は義務だと思うので	産科医師
インストラクターを行う前にテキストやDVDで勉強しなおすので、知識の再確認になり、確実性を増やすことができる考えたので	産科医師
院内での共通認識を目指して。小児科医と合同で行うことにより、普段疑問に思っていたことなどを話し合え、さらに具体的なシミュレーションができ実用的であった。	産科医師
院内の助産師たちがNCPRに積極的に取り組もうとしていたため	産科医師
開催責任者が積極的に地域の消防士さんなどにも声をかけ皆の水準を上げようとする姿勢に共感したので	産科医師
勤務先の小児科Dr.のすすめで	産科医師
県内でオープンに講習が行われていないのでまず自施設から始めようとして行った	産科医師
講習会開催の重要性を実感していること、自らのトレーニングの目的のため	産科医師
更新に必要である。業務と認識しています	産科医師
児の出生に関与する全てのスタッフが蘇生法を習得する必要がある	産科医師
産婦人科医として分娩に立ち会い、助産師看護師も必ず必要な技術と考えたため	産科医師

自分が講習で得た知識技術を普及還元するため	産科医師
自分自身の勉強になる・周囲コメディカルのレベルアップのため	産科医師
自分のため（復習のため）、一人でも多くのNCPRの講習を受けてもらうため	産科医師
周産期医療に関わる多くのスタッフにNCPR講習を受けてもらいたかった為	産科医師
新人教育	産科医師
新生児蘇生法が現状でどの程度標準化されているか知りたかった	産科医師
新生児の予後を改善するため	産科医師
せっかく資格を持つので。大学病院勤務であり、若手の先生たちに習得の場を提供したくて。	産科医師
できるだけ多くのスタッフに浸透させ繰り返し学習させることで習得してほしいと思っているため	産科医師
一人でも多くの新生児が蘇生できることが産科に携わるスタッフとしての責任	産科医師
普及事業に賛成だから	産科医師
他にインストラクターがいらないから	産科医師
まず自院の医療従事者にNCPRを普及するために院外での参加は自分主催の講習会が正しく行われているかどうか検証するため	産科医師
有意義であるから	産科医師
今は助産師だが看護師時代救命にいたのでその経験を活かしたいと思ったことと助産院で働いているため	助産師
蘇生を適切に行えることは必須だと思ったから	助産師
インストラクターを経験することでより深い理解を得たかった。又現在の自分の所属する委員会が新生児蘇生の勉強会を企画しているから。	助産師
院内での普及・インストラクターとしての経験を積んでよりよい普及方法を学ぶため	助産師
演者にすべてを、は無理がある。インストラクターを行うことで他院スタッフと会話ができたり質問づらいことなども仲間的に教え合ったりすることが共に成長するところがいいと思い施行しました。	助産師
回数を重ねることで知識技術の再確認や復習で体得していくことができる。他施設のスタッフとの交流により自己研鑽することができる。チーム医療なので広めていく必要がある。	助産師
自分のインストラクターとしてのレベルの維持向上	助産師
自分の学びを深めていきたいこと・自分の施設を含めもっと多くの人に講習会を受けてもらいたいから	助産師
周産期に携わる職種すべての方が実践できるレベルにした方がよいと思うから	助産師
助産師が助産師として助産師に教えることも必要だと思ったから	助産師
統一された技術ケアが提供できるようお手伝いをしたいと思ったので	助産師
人に伝えられて初めてインストラクターといえると思うので	助産師
普及事業のお手伝いが少しでもできたらという想いから。自分のNCPRの講習を受けた中で現場でとても役立つ。それが他の人にも伝えられたらと思っている。	助産師
分娩中仮死にて出生した児の蘇生を経験し、元気になった児を見て蘇生の重要性を再確認し、他のスタッフにも理解し技術を身につけてほしいから	助産師
他のインストラクターに誘われてはじめて。その後は要望が大きく自分で開催するようになった。	助産師
NICU・産科スタッフの間で専門的な知識と技術を得て赤ちゃんを助けていきたいと思っていました	看護師
NICU勤務をしていてガイドラインに基づいた蘇生を普及する必要性を感じたため	看護師
NICUに勤務しており蘇生時の対応について知識を深め、他のスタッフへも指導が必要と感じたから	看護師
医療従事者の方々に一人でも多く新生児の蘇生ができるようサポートしたい	看護師
義務だと思って始めたが行ってみると意外と楽しい	看護師
県内の受講者が増え出生時の蘇生の手技が統一されるためにに関わりを持ちたいと思ったから	看護師
講習会に参加して下さる方に対して少しでもお役に立てたらという想いからです	看護師
自分のレベルアップと共に指導することで復習できること。また多くの人にNCPRを広めたい為。	看護師
新生児看護に関わるもの者の責任と役割・地域助産施設への普及の必要性	看護師
地域の技術向上により仮死児の予後を良くする	看護師
どこで誰が行っても質の高い蘇生ができるようにするため	看護師
病棟内でNCPRを徹底していけるようチームを組んでいたため、インストラクターとなり実践をふむと病棟内で勉強会でも役立てられると思ったため	看護師

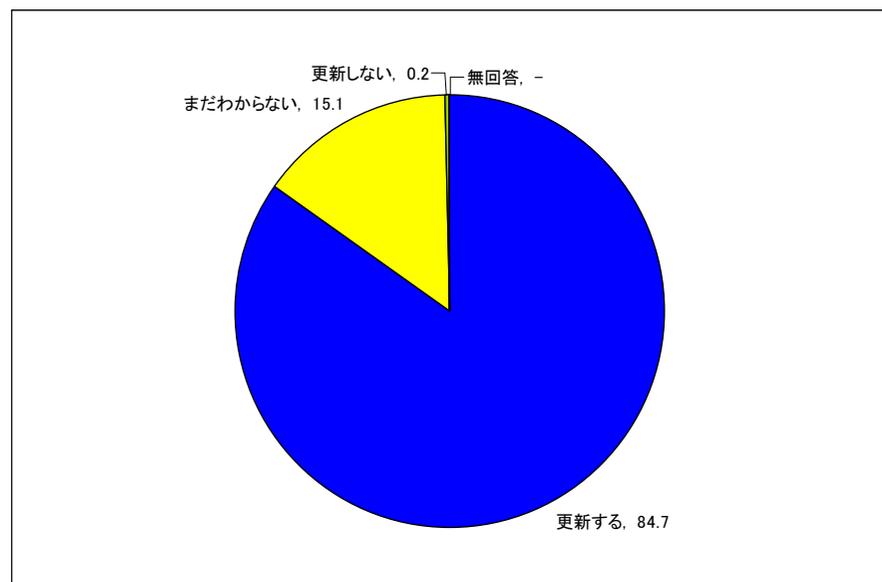
※これは自由回答の抜粋です。

インストラクター：インストラクター資格の更新意向

インストラクター：あなたは、NCPR講習会のインストラクター資格を更新されますか？

◆このアンケートに協力いただいたインストラクターの84.7%が「更新する」と回答した。

是非より多くのインストラクターに更新をしてもらうためにも、経験を積める場の提供やインストラクタースキルアップの機会の提供などは今後さらに取り組んでいくべき課題である。



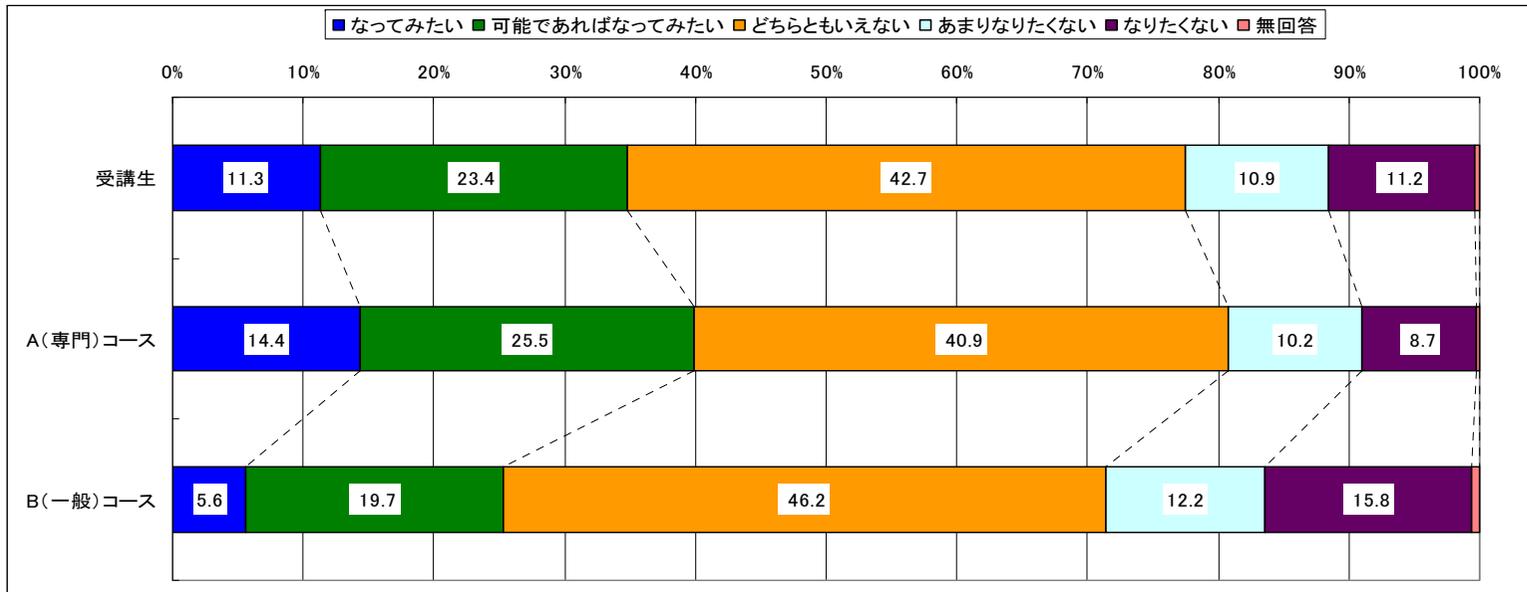
		合計	更新する	まだわからない	更新しない	無回答
	インストラクター	588	84.7	15.1	0.2	-
責任者・インストラクター経験	責任者・インストラクター経験者	456	90.1	9.9	-	-
	補助のみ経験者	132	65.9	33.3	0.8	-
インストラクター資格取得年	2007年・2008年	276	89.1	10.9	-	-
	2009年	133	82.0	18.0	-	-
	2010年	122	78.7	21.3	-	-
	2011年	57	82.5	15.8	1.8	-
満足度	満足計	383	89.8	9.9	0.3	-
	不満足計	205	75.1	24.9	-	-
インストラクター経験回数	20回以上	25	96.0	4.0	-	-
	5～20回未満	215	91.6	8.4	-	-
	2～5回未満	226	84.5	15.5	-	-
	1回	122	70.5	28.7	0.8	-
職業	小児科医師	274	89.4	10.6	-	-
	産婦人科医	237	84.8	15.2	-	-
	その他の医師	4	75.0	25.0	-	-
	助産師	93	82.1	17.9	-	-
	看護師	64	68.9	29.5	1.6	-
	その他	5	80.0	20.0	-	-

受講生：NCPRインストラクターになってみたいか

受講生：あなたは、NCPR講習会のインストラクターになってみたいと思いますか？

◆「どちらともいえない」と「なりたくない」層が多いものの、40%以上の医師は「なりたい」と回答。

「なりたい」の回答を細かくみると、小児科医師は「なりたい」の回答が高く、産婦人科医師・助産師・救急救命士は「可能であればなりたい」の回答が高かった。



		合計	なりたい計	なりたい	可能であればなりたい	どちらともいえない	なりたくない計	あまりなりたくない	なりたくない	無回答
受講生		1830	34.7	11.3	23.4	42.7	22.1	10.9	11.2	0.4
NCPR受講コース	A(専門)コース	1189	39.9	14.4	25.5	40.9	18.9	10.2	8.7	0.3
	B(一般)コース	641	25.3	5.6	19.7	46.2	28.0	12.2	15.8	0.6
	職業									
	小児科医師	129	44.9	27.1	17.8	45.0	10.1	7.0	3.1	-
	産婦人科医	170	42.9	17.6	25.3	38.2	18.8	14.1	4.7	-
	その他の医師	48	41.7	22.9	18.8	41.7	16.7	12.5	4.2	-
	助産師	832	36.3	10.3	26.0	42.3	21.0	10.1	10.9	0.4
	看護師	568	28.0	7.0	21.0	45.1	26.4	12.3	14.1	0.5
	救急救命士	23	34.8	8.7	26.1	47.8	17.4	8.7	8.7	-
	学生	39	25.6	5.1	20.5	38.5	33.3	7.7	25.6	2.6
	その他	19	31.6	5.3	26.3	21.1	47.4	5.3	42.1	-